

◆ 今週のコメント

- 第53週は年末年始の期間で多くの医療機関が休診のため、例年、患者報告数が減少する傾向がみられます。第53週の定点医療機関からの報告数は221例で、第52週601例の約4割の報告となっています。
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が第52週に1例(80歳代女性)、第53週に1例(90歳代男性)あります。1月以降の累積報告数は29例で、過去10年間で最も多い報告数となっています。

- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が第52週に3例(男性(60歳代)、女性(10歳代、60歳代))、第53週に1例(90歳代女性)あります。60歳以上の高齢者に多く発症しており、ワクチンによる予防が重要となります。平成26年10月から高齢者(成人用)肺炎球菌ワクチンが定期接種化されました。詳細は下記ホームページを御参照ください。

○京都市情報館ホームページ

「高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は0.38(26例)で、京都市の過去5年平均値及び全国の本シーズンと比べ少ない報告数となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 4例(肺結核 3例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 2例(第52週4例)
【1月以降の累積報告数 343例(肺結核 173例, その他結核 75例, 潜在性結核感染者 95例)うち喀痰塗抹陽性 83例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 2例(第52週1例, 第53週1例)【1月以降の累積報告数 29例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 4例(第52週3例, 第53週1例)【1月以降の累積報告数 49例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	平成27年第52週			平成27年第53週		
	感染症名	定点当たり報告数	報告数	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.25	17	インフルエンザ	0.38	26
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.98	327	① 感染性胃腸炎	2.90	119
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.90	78	② RSウイルス感染症	0.71	29
	③ RSウイルス感染症	1.24	51	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41	17
	④ 水痘	0.90	37	④ 水痘	0.24	10
	⑤ 伝染性紅斑	0.71	29	⑤ 突発性発しん	0.15	6
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6	流行性角結膜炎	0.00	0
				⑤ 流行性耳下腺炎	0.15	6

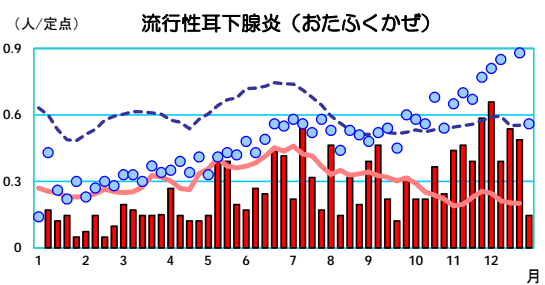
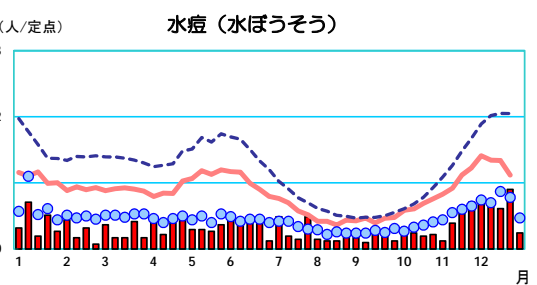
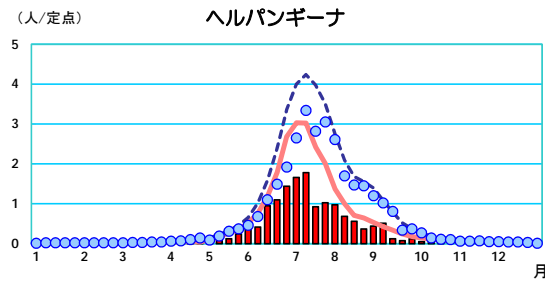
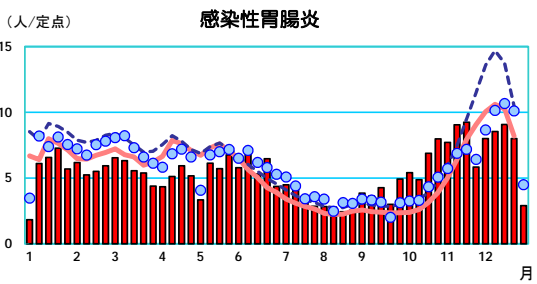
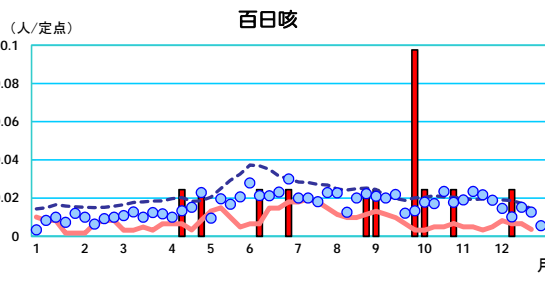
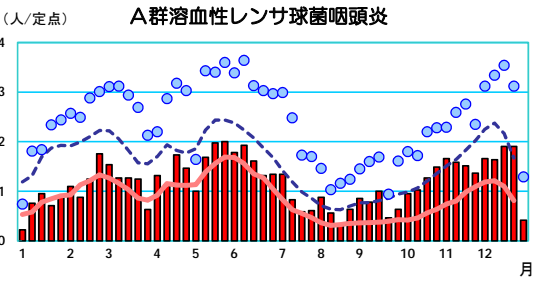
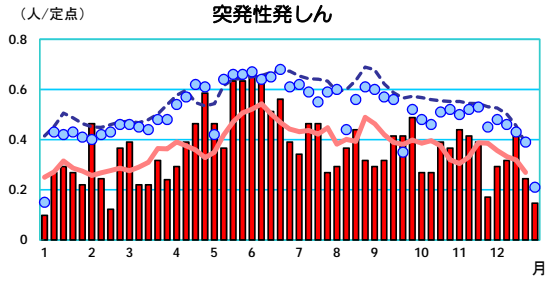
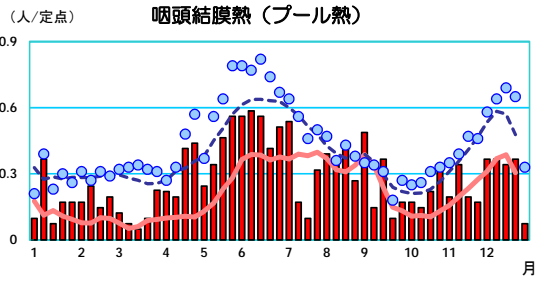
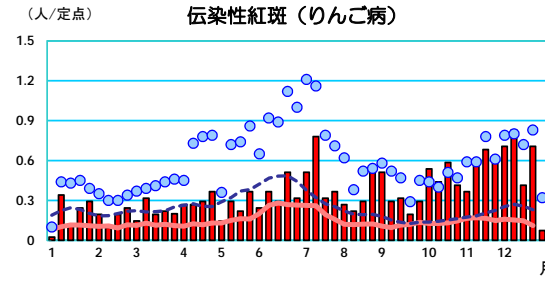
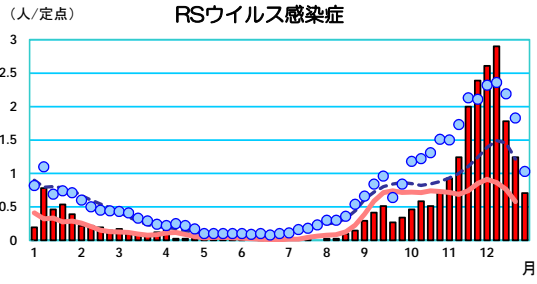
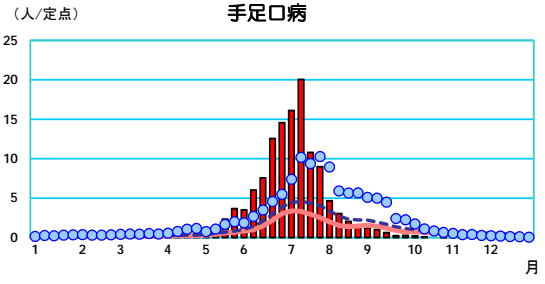
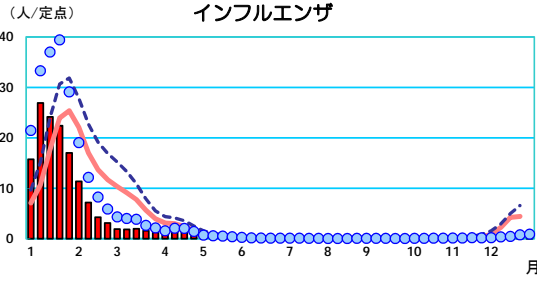
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年1月7日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

ヘルパンギーナ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



合併号(12月21日～1月3日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市の発生動向

インフルエンザの定点当たり報告数は0.38(26例)で、京都市の過去5年平均値及び全国の本シーズンと比べ少ない報告数となっています(図1)。しかしながら、定点当たりの報告数は増加傾向にあり、全国においては0.89、近畿6府県を見ると、滋賀県の定点当たりの報告数が流行開始の指標である『1.0』を超えたことから(図2)、本市でもまもなく1.0を上回る可能性が高いと予想されます。

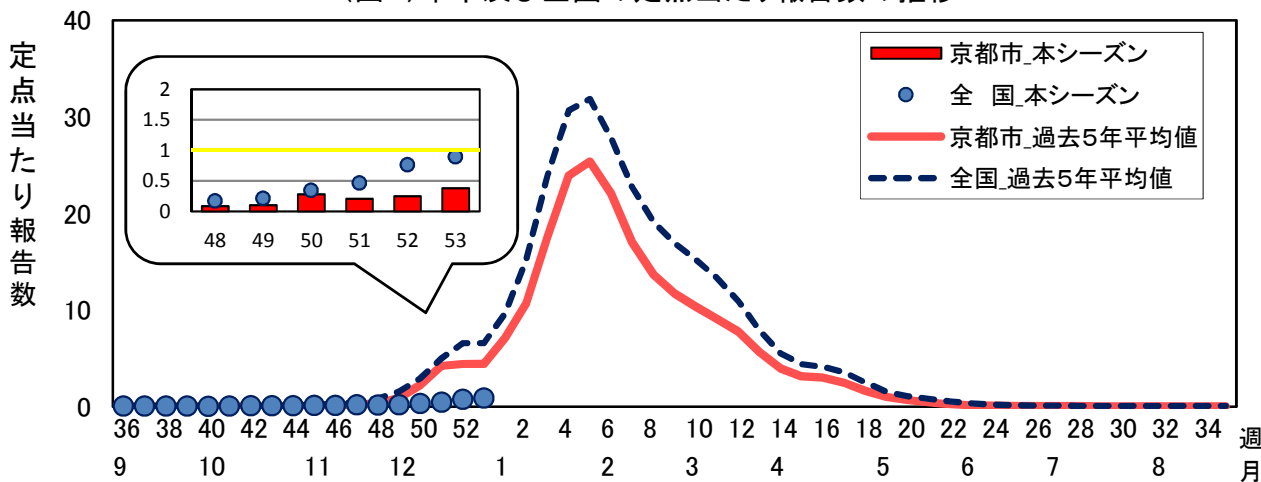
症状及び感染経路

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年、世界中で流行がみられます。典型的な発症例では1～4日間の潜伏期間を経て、突然、発熱(38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛等が出現し、併せて鼻水・咳等の呼吸器症状もみられます。通常は1週間前後で軽快しますが、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴です。主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等による飛沫感染であり、他に接触感染もあるといわれています。

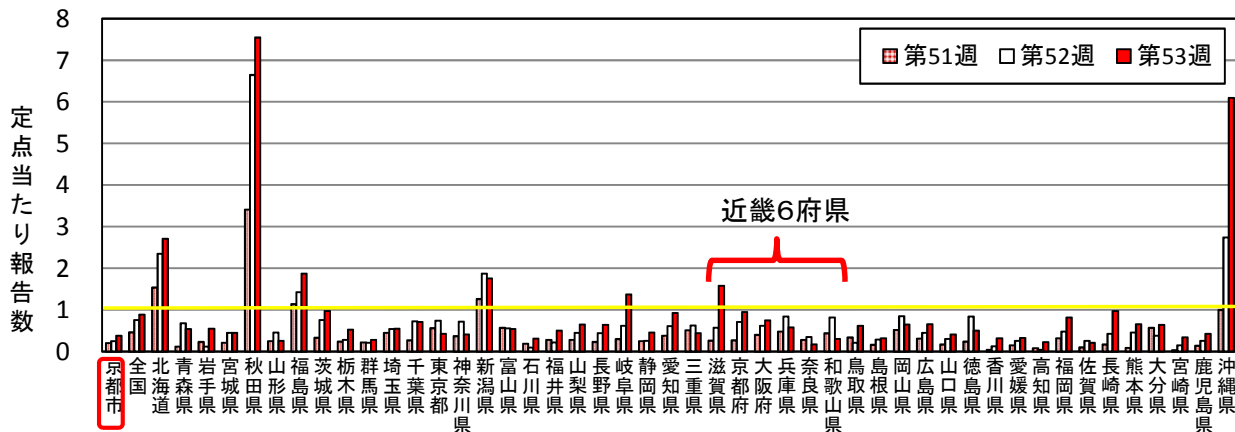
- 流水と石けんでしっかり手洗いをしましょう
- 咳エチケットを心がけましょう
 - ・咳やくしゃみをするときは、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。
 - ・咳やくしゃみが続くときは、マスクを着用しましょう。
 - ・使用後のマスクやティッシュは放置せず、すぐにごみ箱に捨てましょう。



(図1)本市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2)都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第52週

疾病,行政区別報告数

平成27年12月21日～平成27年12月27日

データ入手日:平成28年1月7日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	2	1	-	-	5	2	-	-	1	-	-	-	-	-						
上京	3	3	1	-	12	1	3	2	1	-	-	-	-	-						
左京	1	2	-	3	88	3	-	2	-	-	-	6	-	-						
中京	3	5	1	2	19	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3	6	-	-	19	2	-	-	1	-	-	-	-	-						
山科	-	5	-	21	7	5	-	1	-	-	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
南	4	-	1	5	13	2	-	1	-	-	2	-	-	-						
右京	-	10	7	7	50	13	-	4	1	-	-	-	-	3						
伏見	-	19	2	34	68	7	2	6	5	-	2	13	-	1						
西京	1	-	3	6	45	-	-	12	-	-	1	1	-	2						
京都市計	17	51	15	78	327	37	5	29	10	-	5	20	-	6	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定数当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.29	0.25	-	-	1.25	0.50	-	-	0.25	-	-	-	-	-						
上京	0.60	1.00	0.33	-	4.00	0.33	1.00	0.67	0.33	-	-	-	-	-						
左京	0.14	0.50	-	0.75	22.00	0.75	-	0.50	-	-	-	1.50	-	-						
中京	0.60	1.67	0.33	0.67	6.33	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.00	3.00	-	-	9.50	1.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
山科	-	1.25	-	5.25	1.75	1.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
南	0.80	-	0.33	1.67	4.33	0.67	-	0.33	-	-	0.67	-	-	-						
右京	-	2.00	1.40	1.40	10.00	2.60	-	0.80	0.20	-	-	-	-	3.00						
伏見	-	2.71	0.29	4.86	9.71	1.00	0.29	0.86	0.71	-	0.29	1.86	-	0.50						
西京	0.14	-	0.75	1.50	11.25	-	-	3.00	-	-	0.25	0.25	-	2.00						
京都市計	0.25	1.24	0.37	1.90	7.98	0.90	0.12	0.71	0.24	-	0.12	0.49	-	0.60	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第52週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年12月21日～平成27年12月27日

データ入手日:平成28年1月7日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	17	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	3	3	3	3	1	-	-
RSウイルス感染症		51	9	10	15	8	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		15	-	-	1	5	2	1	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		78	-	-	4	6	6	8	6	17	8	6	4	4	-	9	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		327	1	26	45	42	32	22	26	20	19	15	8	17	10	44	-	-	-	-	-	-
水痘		37	-	1	3	2	4	7	4	9	2	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	5	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		29	-	-	1	1	1	6	6	5	2	2	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		10	-	6	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		5	-	-	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		20	-	-	1	4	1	1	2	3	3	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	2	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.25	-	-	-	0.01	-	0.01	-	-	-	-	-	-	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.01	-	-
RSウイルス感染症		1.24	0.22	0.24	0.37	0.20	0.17	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.37	-	-	0.02	0.12	0.05	0.02	0.05	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.90	-	-	0.10	0.15	0.15	0.20	0.15	0.41	0.20	0.15	0.10	0.10	-	0.22	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		7.98	0.02	0.63	1.10	1.02	0.78	0.54	0.63	0.49	0.46	0.37	0.20	0.41	0.24	1.07	-	-	-	-	-	-
水痘		0.90	-	0.02	0.07	0.05	0.10	0.17	0.10	0.22	0.05	0.02	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.12	-	-	0.02	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.71	-	-	0.02	0.02	0.02	0.15	0.15	0.12	0.05	0.05	-	0.05	-	0.07	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.24	-	0.15	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.12	-	-	0.02	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.49	-	-	0.02	0.10	0.02	0.02	0.05	0.07	0.07	0.02	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	0.20	0.20	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第53週

疾病,行政区別報告数

平成27年12月28日～平成27年1月3日

データ入手日:平成28年1月7日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	3	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	4	1	-	-	3	-	-	1	1	-	-	-	-	-						
左京	-	2	-	1	16	-	-	-	1	-	-	1	-	-						
中京	4	-	-	-	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	10	6	-	-	23	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	3	-	-	-	6	1	-	-	-	-	1	1	-	-						
右京	1	3	2	5	16	2	-	1	1	-	1	-	-	-						
伏見	-	14	-	8	32	-	-	1	2	-	-	4	-	-						
西京	-	2	1	2	9	2	-	-	1	-	-	-	-	-						
京都市計	26	29	3	17	119	10	-	3	6	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.43	0.25	-	-	0.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	0.80	0.33	-	-	1.00	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-						
左京	-	0.50	-	0.25	4.00	-	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-						
中京	0.80	-	-	-	3.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3.33	3.00	-	-	11.50	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	0.14	-	-	0.25	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.60	-	-	-	2.00	0.33	-	-	-	-	0.33	0.33	-	-						
右京	0.13	0.60	0.40	1.00	3.20	0.40	-	0.20	0.20	-	0.20	-	-	-						
伏見	-	2.00	-	1.14	4.57	-	-	0.14	0.29	-	-	0.57	-	-						
西京	-	0.50	0.25	0.50	2.25	0.50	-	-	0.25	-	-	-	-	-						
京都市計	0.38	0.71	0.07	0.41	2.90	0.24	-	0.07	0.15	-	0.05	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第53週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年12月28日～平成27年1月3日

データ入手日:平成28年1月7日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	26	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	1	5	8	2	2	3	-	1	1
RSウイルス感染症		29	7	6	11	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		17	-	-	-	2	3	1	3	-	-	1	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		119	2	5	22	16	13	13	5	6	5	4	4	14	1	9	-	-	-	-	-	-
水痘		10	-	-	-	-	-	1	-	2	4	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		3	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		6	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		6	-	-	1	1	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.38	-	-	-	0.01	-	0.01	-	-	0.01	-	-	0.01	0.07	0.12	0.03	0.03	0.04	-	0.01	0.01
RSウイルス感染症		0.71	0.17	0.15	0.27	0.05	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.07	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.41	-	-	-	0.05	0.07	0.02	0.07	-	-	0.02	0.05	0.10	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.90	0.05	0.12	0.54	0.39	0.32	0.32	0.12	0.15	0.12	0.10	0.10	0.34	0.02	0.22	-	-	-	-	-	-
水痘		0.24	-	-	-	-	-	0.02	-	0.05	0.10	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.07	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.15	-	0.05	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.15	-	-	0.02	0.02	0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第53週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年1月7日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	6	7	19	14	17	26
RSウイルス感染症	98	107	119	73	51	29
咽頭結膜熱	7	15	15	14	15	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	56	68	67	78	78	17
感染性胃腸炎	239	328	350	372	328	119
水痘	29	32	26	25	37	10
手足口病	2	3	3	2	5	-
伝染性紅斑	26	29	34	17	29	3
突発性発しん	7	12	13	17	10	6
百日咳	-	-	1	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	-	5	2	5	2
流行性耳下腺炎	24	27	16	22	20	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	9	5	4	6	-
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	499	637	673	640	601	221

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	0.09	0.10	0.28	0.21	0.25	0.38
RSウイルス感染症	2.39	2.61	2.90	1.78	1.24	0.71
咽頭結膜熱	0.17	0.37	0.37	0.34	0.37	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.37	1.66	1.63	1.90	1.90	0.41
感染性胃腸炎	5.83	8.00	8.54	9.07	8.00	2.90
水痘	0.71	0.78	0.63	0.61	0.90	0.24
手足口病	0.05	0.07	0.07	0.05	0.12	-
伝染性紅斑	0.63	0.71	0.83	0.41	0.71	0.07
突発性発しん	0.17	0.29	0.32	0.41	0.24	0.15
百日咳	-	-	0.02	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.02	-	0.12	0.05	0.12	0.05
流行性耳下腺炎	0.59	0.66	0.39	0.54	0.49	0.15
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.90	0.50	0.40	0.60	-
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	12.42	16.15	16.61	15.78	14.95	5.14

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。